

共同研究奨励金グループ活動報告

『戦後、とくにGHQ占領期における在日華僑、在日朝鮮人の生活空間を明らかにする—横浜市・神奈川県内の動きを中心に』

外国語学部 大里浩秋

本研究の3年目の研究は、2年目と同様二つの研究会を開くことを軸に進め、かつ3年間のまとめとなるシンポジウムを開く準備を進めた。以下に二つの研究会（便宜上、「留学生の歴史」班、「プラタゲ文庫と東アジア班」と呼ぶ）を開いた日時と報告者、報告テーマを記す。

「留学生の歴史」班

- ①日時：2011年2月5日（土） 3時～5時
場所：神奈川大学17号館216室
報告：(1) 戦後の中国人留学生—『中国留日学生報』を素材に（田遠）
(2) 今後の日程について場所：神奈川大学17号館216室
- ②日時：2011年4月2日（土） 3時～5時
場所：神奈川大学・横浜キャンパス17号館216室
報告：(1) 「清末民初における留日学生とYMCA」（川崎真美）
(2) 資料調査報告（大里浩秋・孫安石）
— a. アメリカ国立公文書館（NARA）、b. 上海市檔案館、c. 台湾中央研究院
(3) 2011年度計画— a. 研究会とワークショップ、b. 天津南開大学シンポ
- ③日時：2011年6月4日
1. 研究報告「警察講習所の中国人留学生—1937年以降を中心に」（宗村高満）
 2. 参加者自己紹介、研究動向
 3. 今年度の予定
 - ・10月27日—29日予定の天津南開大学シンポが来年に延期
 - ・『中国留日学生通史』3冊の合評会を開くこ

とを決める

- ・11月5日、6日—神奈川大学・清華大学・中国史学会主催「辛亥革命」シンポジウムに向けた報告の依頼
- ④日時：2011年7月9日（土）午後3時～5時
場所：神奈川大学・横浜キャンパス17号館216会議室
- 内容
1. 研究報告—「郭沫若三兄弟の日本留学」（劉建雲）
 2. 参加者の自己紹介、研究動向紹介
- ⑤日時：2011年10月8日（土） 15：00～17：00
場所：神奈川大学・横浜キャンパス17号館216会議室
- 内容：1. 研究報告—「東方文化事業と陶晶孫」（中村みどり）
2. 参加者の自己紹介、研究動向紹介
3. 今年度の予定と相談
 - ・『中国留日学生通史』3冊の合評会—拡大ワークショップ11月26日を予定
- ⑥日時：2011年11月26日（土）午後1時～5時
場所：東京大学・駒場キャンパス18号館4Fコラボルーム3
- 内容：李喜所主編『中国留日学生通史』の合評会
1. 清末編
 - ・第6、7章、清末の留学—川崎真美（中国研究所）
 - ・第11、12章、立憲と政治改革—李曉東（島根県立大学）
 - ・第13、14章、留学生と風俗改良—孫安石（神奈川大学）
 2. 民国編
 - ・第1、2、3章、民国初期—大里浩秋

(神奈川大学)

- ・第6, 7章, 南京国民政府時期—高田幸男 (明治大学)
- ・第7章, 抗日戦争—大里浩秋 (神奈川大学)
- ・第8章, 田遠 (神奈川大学博士課程)
- 3. 新中国編
- ・第1, 2, 8章, 王雪萍 (東京大学)
- 4. 参加者の自己紹介と最新の研究動向紹介

⑦日時: 2012年1月7日(土) 15:00~17:00

場所: 神奈川大学・横浜キャンパス17号館216会議室

- 内容: 1. 研究報告—「明治後期の清国留学生教育機関について」(胡穎)
2. 参加者の自己紹介
3. 2012年度の予定と相談

「プランゲ文庫と東アジア」班

①日時—2011年2月28日~3月1日

場所—神奈川大学箱根保養所



【報告と討論】

「前期集団引揚の「ソ連引揚」について」(大澤武司, 熊本学園大学)

「ジョージ・H・カーと沖縄人移民—台湾引揚からボリビア植民へ」(泉水英計, 神奈川大学)

「朝鮮人の移動をめぐる政治学—戦後米軍占領下の日本と南朝鮮」(小林聡明, 東京大学大学院・学術研究員)

【コメンテータ】加藤聖文 (国文学研究資料館)

②日時—2011年4月20日午後3時~5時

場所—神奈川大学横浜キャンパス17号館216室

【報告】1. 「戦後断絶期の中国観1946-1952」

(元神奈川大学教員 田畑光永)

2. 「アメリカ国立公文書館の資料調査報告」(大里浩秋, 尹健次, 孫安石, 小林聡明)

3. その他, 今年度の計画

③日時—5月26日—29日, 滋賀県立大学図書館での資料調査

陳徳勝コレクション(左)と中国の旅行案内に関連する書籍(右)の調査。資料の詳細については<http://www.linc.usp.ac.jp/collection/index.html>をご参照ください。

④日時—2011年12月3日 午後3時~5時

場所—神奈川大学横浜キャンパス・人文学研究所

【報告】(1)「戦後憲法問題に関する新聞論説, 1945-57年」(梶居佳広)

(2)「法現象としての憲法—9条に焦点を当てて」(東郷佳朗)

(3) 報告, 打ち合わせ—今後の予定とくに3月シンポ開催について

なお, 3月26日10時~5時, 1号館301室で3年間の成果を報告・討論するシンポジウム「戦後日本の原風景」を開く予定。

(注記: 本報告は共同研究グループ「プランゲ文庫研究会」の活動報告を兼ねる)